

学校推薦型選抜（公募）Ⅱ期 国語「基礎学力調査」

【一】 次の文章を読んで、後の問い（問一～六）に答えなさい。

河ひとつへだてた地点に、別の国があるという現実には、おそらく日本人はそこに立ってみなければ、概念はおろか、虚ろな光景すら思い描けないのではあるまいか。それもカナダの河や、中国の揚子江みたいに対岸が見えないような巨大な河ではなく、ちよつと大声を出せば向こう岸の住人と世間話が出るほどの国境を兼ねた河を。

四方を海で囲まれた日本は、外国に旅行することを「海外旅行」と自然に言ってしまう。もし、国というものにも宿命的な要素がたずさわっているとすれば、そんな日本に生まれ育った私たちもまた、国と国との関係、民族と民族とのつながりなどに関して、いかんともしがたいキョウリョウなコンセプトを持たざるを得ない宿命を持っているのである。

これは余談になるが、数年前、二十代前半の新人作家が登場して、その小説が百万部をはるかに超えるベストセラーになったとき、彼が印税でゴウテイを建てたのだが、それを聞いたある作家が、「勿体ないことをするもんだな」とつぶやいたという話を、私は親しい編集者から教えられた。その金をすべて使い果たすはめになっても、家なんか建てず、世界中を何年もかけて旅行したらいい、それはいつか何十倍にもなって返ってくるだろう。その作家はそうつけ足したそうである。

私は直接聞いたわけではないので、その話が本当なのか、誰かの作り話なのかはわからない。しかし、いずれにせよ、その作家の言ったという言葉はタツケンである。たとえば、ロシアの文学をすべてドクハしたとしても、私たちは、ロシアの星の色を、人々の匂いを、空気の肌ざわりを、理解することなど断じて出来はしないのだ。ある概念として、一、二、三歩、そこ

に近づけるだけである。だが、私たちの知らない場所の、よるべない一点に立ちつくして、何を考えるでもなく、ぼんやりとあたりを見渡しているうちに、個々の心の領域に应じて、それまで見えなかったものが、言葉にならないにせよ、確かに見えてくることは事実なのだ。

⁽²⁾ 創造⁽²⁾というものは、おそらく、それまでどうしても見えなかった何物かが、ほんの少し見えた瞬間から始まる。どこにも線など引かれてはいない国境を一步またいだだけで、雲の色や草の色があきらかに変わるのを見て、長い苦しい恋に終止符を打てたり出来るのが、人間の心の不思議さである。そして、この不思議なるものの感知は、金では買えない。

(宮本輝『異国の窓から』より、文中省略あり)

〔問一〕 傍線部(あ)～(え)にあてはまる漢字を含む熟語を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | | |
|-----|--------|------|------|------|------|------|
| (あ) | キヨウリヨウ | ① 教育 | ② 郷愁 | ③ 発狂 | ④ 偏狭 | ⑤ 供述 |
| (い) | ゴウテイ | ① 官邸 | ② 料亭 | ③ 停学 | ④ 家庭 | ⑤ 低下 |
| (う) | タツケン | ① 開拓 | ② 食卓 | ③ 帰宅 | ④ 支度 | ⑤ 光沢 |
| (え) | ドクハ | ① 破産 | ② 派遣 | ③ 紅葉 | ④ 制覇 | ⑤ 余波 |

〔問二〕 傍線部(ア)～(エ)の意味として最も適切なものを、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|-----|-------|-----------|------------|------------|
| (ア) | おろか | ① 理解できるが | ② 言うまでもないが | ③ 時と場合によるが |
| (イ) | 余談になる | ④ 必要としないが | ⑤ 論外だが | |
| (ウ) | 断じて | ① 冗談を言う | ② わき道にそれる | ③ 本筋に入る |
| (エ) | よるべない | ④ 難解になる | ⑤ 付け加える | |
-
- | | | | | |
|-----|-------|-----------|------------|------------|
| (ア) | おろか | ① 理解できるが | ② 言うまでもないが | ③ 時と場合によるが |
| (イ) | 余談になる | ④ 必要としないが | ⑤ 論外だが | |
| (ウ) | 断じて | ① たぶん | ② ほとんど | ③ 状況によるが |
| (エ) | よるべない | ④ ひよっとしたら | ⑤ なにがなんでも | |
-
- | | | | | |
|-----|-------|-----------|------------|------------|
| (ア) | おろか | ① 理解できるが | ② 言うまでもないが | ③ 時と場合によるが |
| (イ) | 余談になる | ④ 必要としないが | ⑤ 論外だが | |
| (ウ) | 断じて | ① たぶん | ② ほとんど | ③ 状況によるが |
| (エ) | よるべない | ④ 夜の静寂なさま | ⑤ 騒がしいさま | ③ 孤独で不安なさま |
-
- | | | | | |
|-----|-------|-----------|------------|------------|
| (ア) | おろか | ① 理解できるが | ② 言うまでもないが | ③ 時と場合によるが |
| (イ) | 余談になる | ④ 必要としないが | ⑤ 論外だが | |
| (ウ) | 断じて | ① たぶん | ② ほとんど | ③ 状況によるが |
| (エ) | よるべない | ④ 活気があるさま | ⑤ 怒りに満ちたさま | |

〔問三〕 日本や日本人に関する説明として、本文の内容と一致するものを次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 「海外旅行」という言葉が象徴するように、外国の歴史や文化に日常的に関心がある。
- ② 河そのものが国境を兼ねていることを想像することは、さほど難しいことではない。
- ③ 国と国の関係性について、しっかりとしたコンセプトをもっている。
- ④ 民族と民族のつながりに対する意識は、ほかの国に引けを取らないほど強い。
- ⑤ 河のすぐ向こう側に別の国が存在するということに現実味がない。

〔問四〕 傍線部(1)「その作家の言ったという言葉」を紹介することで、筆者が読者に伝えたかったことはなにか。最も適切

なものを次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 立派な家を建てることと旅行に行くことは、作家にとって同等の価値がある。
- ② ある国のことを真に理解するためには、その国の文学作品にまずは目を通す必要がある。
- ③ 知らない場所に実際に訪れることで、これまで感じられなかったものに気づくことができる。
- ④ 本当の話か作り話かわからないエピソードについては、話半分で聞き流せばよい。
- ⑤ 知らない土地に身を置くことで、その場所の雰囲気や特徴がすべて言語化できるようになる。

〔問五〕 傍線部(2)「創造」に関する説明として、本文の内容と一致するものを次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 創造は、人間の考える営みとしてもっとも崇高なものである。
- ② 創造は、実際には「見えないもの」を自分の頭のなかで作り上げていく作業である。
- ③ 創造は、国境をまたぐことによってしか獲得できない能力である。
- ④ 創造は、これまで見えていないものが見え始めることと関連している。
- ⑤ 創造は、人間の心の不思議さそのものであり、日本では経験できないものである。

〔問六〕 宮本輝は、川を舞台とした作品をいくつも描いてきたことで知られているが、遠藤周作も「深い河」という作品の

なかで、インドのガンジス川を舞台に人々の人生模様を描いている。遠藤周作の作品として適切なものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 「白い人」
- ② 「細雪」
- ③ 「潮騒」
- ④ 「太陽の季節」
- ⑤ 「砂の器」

【二】 次の文章を読んで、後の問い（問一～五）に答えなさい。

ボランテアの「報酬」についてわかりにくいところがあるとしたら、その本質が「閉じて」いてしかも「開いて」いるという、一見相反する二つの力によってコウセイ^(あ)されているからではないだろうか。

人が何に価値を見いだすかは、その人が自分で決めるものである。他人に言われて、キソク^(い)で決まっているから、はやっていいるからとかという「外にある権威」に従うのではなく、何が自分にとって価値があるかは、自分の「内にある権威」に従って、つまり、独自の体験と論理と直感によって決めるものだ。その意味で、価値を A する源は「閉じて」いる。（Ⅰ）「内なる権威」に基づいていること、自発的に行動すること、何かをしたいからすること、きれいだと思うこと、楽しいからすること、などが「 B 」のは、それらの力の源が「閉じて」いて、外からの支配を受けないからだ。（Ⅱ）つまり、「開いて」いなければ「報酬」は入ってこない。このように、ボランテアの「報酬」は、それを価値ありと判断するのは自分だという意味で「閉じて」いるが、それが相手から与えられたものだという意味で「開いて」いる。

「外にある権威」だけにに基づいて行動すること、つまり「開いている」だけの価値判断によって行動するのは、わかりやすいことであるとともに、楽なことだ。（Ⅲ）うまくいかなくとも、自分のせいではないし、いつでも言い訳が用意されているのだから。また、自分の独自のものを C 必要がないから、傷つくこともない。しかし、「外にある権威」だけにジュンキョ^(う)して判断をするということは、物事がある平面で切り取り、それと自分との関係性をはじめから限定してしまふことになる。それでは、何も新しいものは見つけれないし、だいいち、楽しくない。（Ⅳ）

一方、「閉じて」いるだけのプロセスも、フクザツ^(え)なところはなくはつきりしているし、周りのことを考えなくていいわけだから楽なことである。しかし、そこからは排他性とか D しか生まれない。つまり、「開いている」だけ、または「閉じているだけ」の行動はわかりやすく、楽であるかもしれないが、力と魅力に欠けるといふことだ。新しい価値は「閉じている」ことと「開いている」ことが交差する一瞬に開花する。

（金子郁容『ボランテア』より）

〔問二〕 傍線部(あ)～(え)にあたる漢字を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | |
|-----|--------|---|---|
| (あ) | コウ セイ | ① | 購 |
| (い) | キソ ク | ① | 側 |
| (う) | ジユン キヨ | ① | 去 |
| (え) | フク ザツ | ① | 複 |
| | | ② | 副 |
| | | ② | 抛 |
| | | ② | 捉 |
| | | ② | 公 |
| | | ③ | 復 |
| | | ③ | 居 |
| | | ③ | 則 |
| | | ③ | 鋼 |
| | | ④ | 服 |
| | | ④ | 処 |
| | | ④ | 即 |
| | | ④ | 講 |
| | | ⑤ | 福 |
| | | ⑤ | 拳 |
| | | ⑤ | 測 |
| | | ⑤ | 構 |

〔問三〕

空所 A

く D

に入る最も適切な言葉を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びな

さい。

- | | | |
|---|---|-----|
| A | ① | 束縛 |
| B | ① | 尊い |
| C | ① | 解る |
| D | ① | 利他性 |
| A | ② | 脚色 |
| B | ② | 儂い |
| C | ② | 賭ける |
| D | ② | 協調性 |
| A | ③ | 認知 |
| B | ③ | 薄い |
| C | ③ | 真似る |
| D | ③ | 気遣い |
| A | ④ | 否定 |
| B | ④ | 弱い |
| C | ④ | 守る |
| D | ④ | 無私 |
| A | ⑤ | 蔑視 |
| B | ⑤ | 強い |
| C | ⑤ | 集める |
| D | ⑤ | 独善 |

〔問五〕 本文の内容と一致するものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 「外にある権威」だけに従うことも、「内なる権威」だけに従うことも、個人の行動が「閉じている」という点で共通している。
- ② 「外にある権威」だけに従うことも、「内なる権威」だけに従うことも、個人の行動としてはわかりやすく、魅力的である。
- ③ 「外にある権威」だけに従うことも、「内なる権威」だけに従うことも、新しい価値を生み出すという点で十分ではない。
- ④ 「外にある権威」だけに従うと新しいものが見つけやすい一方で、「内なる権威」だけに従うと相手に対して排他的になりやすい。
- ⑤ 「外にある権威」だけに従うと物事がうまく運ばないときに言い訳ができる一方で、「内なる権威」だけに従うと複雑に入り組んだ世界に没入する可能性がある。

【解答例】

入試年度 : 2022
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)
Ⅱ期
科目 : 基礎学力調査

〈国語〉

問No.	解答番号
1	4
2	1
3	2
4	1
5	2
6	2
7	5
8	3
9	5
10	3
11	4
12	1
13	5
14	3
15	2
16	1
17	3
18	5
19	2
20	5
21	2
22	1
23	3
24	
25	